

2022 年度 事業報告及び決算報告

自 2022 年 1 月 1 日
至 2022 年 12 月 31 日

一般社団法人公益資本主義推進協議会

事業の概況

2022 年度も公益目的事業である正しい企業経営の在り方を啓蒙・実践する事業の推進に取り組んだ。

1. 2022 年度のテーマと活動

当協議会は、諸外国から真に尊敬される日本づくりの実現に向け、東京・愛知・福岡に設立している支部、広島・栃木・福島に設立している支部設立準備委員において、「100 年企業研究委員会」「教育支援委員会」「途上国支援委員会」「地域活性化委員会」「会員交流委員会」の 5 つの委員会を中心に活動している。

2022 年度は最上位目的として「王道経営を学び、実践する、いい会社を増やす」と定め、①PICC（一般社団法人 公益資本主義推進協議会の略称、以下「PICC」と表記する）でなければ学べないコンテンツや環境整備、②王道経営実践状況を「見える化」するための重点指標の検討、③新たな会員を増やすための方策の検討、以上 3 点を重点課題として取り組んできた。

PICC 活動も、会員の想いも、方向性を本業強化＝王道経営に集約するべく、まず PICC 会員自身が「王道経営」を学ぶための環境づくりに注力し、会長の大久保秀夫が講師を務める「王道経営実践道場」を隔月で、オンラインで実施した。また、時間が合わず講義に参加できなかった会員、今後入会してくる会員、振り返って確認したい会員等、より多くの方が、それぞれ都合のいいタイミングで再学習できるよう、講義動画と資料をアーカイブで確認できる環境も整えた。

しかし、Web サービスは便利である一方、リアルでなければ学べないこともあるため、さまざまな現場・現物・現実を確認することで、人としての在り方や未来について考えるための場づくりをするため、新たに「PICC ツアー」もスタートした。

ただし、新型コロナウイルスの影響は依然として無視できるものではなく、また働き方や生活様式が変化した影響もあり、PICC 全体においても、支部においても、Web 会議を活用した非対面の活動が中心となった。先述した通り、一部で対面式のイベントが新設されたり、復活されたりしているものの、全体としてはオンラインでの活動が多かったため、旅費交通費や会議費を中心に、支出実績は大幅に予算計画を下回っている状況となった。

このような活動の結果、正会員については昨年を大きく上回る 26 社が新規入会した。一方で、社業多忙等による退会が 18 社、休会・失効が 15 社あるため、稼働している正会員数は年初の 205 社から 198 社（失効や休会を含めると 230 社）へ微減した。またマイコミュニティフォーラム等で知り合った若者を対象とした U25 会員は 3 名増えたものの、25 歳を迎えて卒業した者が 16 名いたため、トータルで 69 名になっている。

2. 2022 年度の業績概況

このような活動を行った結果、今年度の業績は次の通りとなった。

経常収益は前期に比べ 677 万円増加し 2,146 万円の収益となった。主な収益は、支部所属会員を対象としている月会費（1 万円／月）とその他の地域の会員を対象としている年会費（3 万円／年）。前期は新型コロナウイルス感染拡大により従来通りの会員活動を行うことが難しい状況を踏まえ、合計で 6 カ月間の会費減免を実施したが、今期は実施しなかったため、昨年よりも増収となった。

一方で費用の支出は、引き続き予算を下回る状況が続いたため、902 万円の利益となった（前期は 279 万円の利益）。会費の一部は、各支部会員が自主的かつ組織的に、本会主旨の活動を展開していくための支部活動費として活用されている。また本部においても、会員や支部会計を管理するためのシステム整備・運用、会議やイベント開催等の財源としている。2022 年度も様々な予算を計上していたものの、多くの会議やイベントが中止もしくはリモート開催となったため旅費交通費、諸謝金、広報費、会場費を中心に、支部・本部共に経費支出が大幅に削減された。

貸借対照表

2022年12月31日現在

単位：円（税込）

科目	残高
小口(宮城支部)	0
小口(大阪支部)	0
小口(福岡支部)	36,247
マイ小口(愛知)	5,566
小口(福島)	10,450
普通預金(本部)	20,736,725
ネット預金(本部)	49,004
普通(東京支部)	1,159,024
普通(愛知支部)	1,504,843
普通(宮城支部)	0
普通(大阪支部)	0
普通(福岡支部)	2,817,859
マイ普通(愛知)	763,813
普通(福島)	321,531
現金預金合計	27,405,062
事業間勘定	0
本部	3,000,000
東京支部	-3,000,000
未収会費	784,020
未収金	27,000
前払金	27,500
貯蔵品	18,000
前払費用	190,894
仮払金	590,000
流動資産合計	29,042,476
基本財産合計	0
特定資産合計	0
その他固定資産合計	0
固定資産合計	0
資産合計	29,042,476
未払金	300,818
預り金	24,852
仮受金	0
仮受け会費等	0
流動負債合計	325,670
固定負債合計	0
負債合計	325,670
指定正味財産合計	0
一般正味財産	28,716,806
正味財産合計	28,716,806
負債及び正味財産合計	29,042,476

事業別正味財産増減計算書

2022年1月1日から2022年12月31日まで

単位：円（税込）

科目	支部	本部	合計
I 一般正味財産増減の部			
1. 経常増減の部			
(1) 経常収益			
受取入会金	0	279,000	279,000
正会員入会金	0	270,000	270,000
U25入会金	0	9,000	9,000
受取会費	0	15,743,000	15,743,000
正会員年会費	0	3,557,500	3,557,500
正会員月会費	0	12,185,500	12,185,500
内振支部活動費	1,984,725	-1,984,725	0
内振支部活動	1,984,725	-1,984,725	0
事業収益	3,773,323	445,000	4,218,323
講演会等収益	719,341	0	719,341
イベント収益	3,053,982	445,000	3,498,982
受取補助金等	1,183,000	0	1,183,000
受取地方補助金	1,183,000	0	1,183,000
雑収益	30,152	10,129	40,281
受取利息	52	119	171
雑収益	30,100	10,010	40,110
経常収益計	6,971,200	14,492,404	21,463,604
(2) 経常費用			
事業費	6,890,721	2,233,139	9,123,860
諸謝金	517,491	80,000	597,491
旅費交通費	287,125	322,606	609,731
消耗品費	38,955	200,816	239,771
通信運搬具	12,056	210,146	222,202
システム管理費	278,050	667,920	945,970
渉外費	130,721	10,000	140,721
会議費	369,207	26,574	395,781
広報費	925,670	0	925,670
会場費	2,393,090	77,704	2,470,794
開催費	1,440,572	223,300	1,663,872
支払手数料	57,704	414,073	471,777
支払保険料	49,910	0	49,910
業務委託費	360,000	0	360,000
支払寄附金	30,170	0	30,170
管理費	0	3,314,892	3,314,892
支払報酬	0	27,500	27,500
諸謝金	0	100,000	100,000
旅費交通費	0	431,236	431,236
消耗品費	0	106,991	106,991
通信運搬具	0	2,538	2,538
システム管理費	0	889,811	889,811
渉外費	0	114,104	114,104
会議費	0	35,012	35,012
広報費	0	1,035,331	1,035,331
会場費	0	158,520	158,520
支払手数料	0	7,249	7,249
租税公課	0	10,600	10,600
顧問料	0	396,000	396,000
経常費用計	6,890,721	5,548,031	12,438,752
評価損益等調整前当期経常増減額	80,479	8,944,373	9,024,852
評価損益等計	0	0	0
当期経常増減額	80,479	8,944,373	9,024,852
2. 経常外増減の部			
(1) 経常外収益			
経常外収益計	0	0	0
(2) 経常外費用			
経常外費用計	0	0	0
当期経常外増減額	0	0	0
内部振替額	25,962	-25,962	0
内部振替収入	25,962	0	25,962
内部振替支出	0	25,962	25,962
税引前当期一般正味財産増減額	106,441	8,918,411	9,024,852
法人住民事業税	0	70,000	70,000
当期一般正味財産増減額	106,441	8,848,411	8,954,852
一般正味財産期首残高	9,936,981	9,824,973	19,761,954
一般正味財産期末残高	10,043,422	18,673,384	28,716,806
II 指定正味財産増減の部			
当期指定正味財産増減額	0	0	0
指定正味財産期首残高	0	0	0
指定正味財産期末残高	0	0	0
III 正味財産期末残高	10,043,422	18,673,384	28,716,806

財務諸表に関する注記

1. 重要な会計方針

公益法人会計を適用しております。

(1) 棚卸資産の評価基準および評価方法

棚卸資産はございません。

(2) 固定資産の減価償却の方法

固定資産はございません。

(3) 引当金の計上基準

引当金はございません。

(4) 消費税等の会計処理

税込方式によっております。

2. 特定資産の増減額およびその残額、財源等の内訳

特定資産はございません。

3. 固定資産の取得価額、減価償却累計額および当期末残高

固定資産はございません。

4. 実施事業等会計にかかわる資産

実施事業等会計にかかわる資産はございません。

5. 重要な後発事象

ございません。

付属明細書

1. 特定資産の明細

財務諸表の注記に関する記載の通りです。

2. 引当金の明細

財務諸表の注記に関する記載の通りです。